

2009年度 3D 教育研究会 『公開授業見学会』 レポート

公開授業見学会



グループコミュニケーション公開授業

会場：小松原高等学校
開催：2009年11月7日（土）
15:25～16:15
終了後意見交換会

小松原高等学校（私立・全日制・男子）

住 所 〒336-0017 さいたま市南区南浦和3-21-8
電話番号 048-885-1488
HP Address <http://www.komatsubara.ac.jp/>

小松原高等学校

生徒一人ひとりの人間性育む教育姿勢の小松原高等学校！

各学年ごとに『私の長所は？』『推理ロジックに挑戦しよう』『男女交際について考える』をテーマにしたグループ・コミュニケーション公開授業が行なわれました。



小松原高等学校は昭和 34 年に創立。以来、教育目標に「みんなから愛される人間」「社会に役立つ人間」「勤労を尊び前進する人間」を掲げ、徹底した学習指導と共に、挨拶や言葉使いに始まる礼儀、規律のある生活習慣、公共心の育成など、豊かな人格形成の基礎となる教育に力を注ぎつつ、知識や技術に偏ることなく、生徒一人ひとりの人間性をあらゆる角度から見つめ、バランスのとれた人間を育むことを教育の基本にしている学校です。

当日は、各学年の進学選抜コース 1 クラスを対象に以下の内容でのグループ・コミュニケーション公開授業が行なわれた。

1 年『私の長所は？』

2 年『推理ロジックに挑戦しよう』

3 年『男女交際について考える』

先生が生徒に対し「思った事」「感じた事」等を発言させ、その発言に対する感想・意見をまた別の生徒に委ねるなど、1つの課題に対し様々な発言が増殖していたクラスも見られた。授業終盤には「ふりかえりシート」を記入させ、それぞれが個々の意見をまとめたようである。

公開授業終了後には、同校の先生方と各参加校の先生方との間で、今回の公開授業についての意見交換会が行なわれた。

「本日は小松原高校のグループ学習にお集りいただきありがとうございました。本日のグループコミュニケーションを見て頂きまして、実際に思ったこと、感じたこととお話し頂きたいと思います。」

菊地 淳（KA 教育）

小松原高校副校長の本田先生の挨拶の後、意見交換会が行なわれました。



「今回は3年生の授業『男女交際について考える』を拝見させていただきました。生徒がしっかり自分の意見を発表していて、意見の異なる生徒をクラス内で2つに分け、生徒を司会役とさせるなど非常に旨く展開されていたと思います。」

滝沢 正先生（関東第一高等学校）

「本校は共学校でありますので、今回のテーマについて男女を交えてやってみたいと感じました。非常に参考になりました。」

池田 賢先生（関東第一高等学校）

「3年生の授業を拝見させていただきました。大変面白かったです。教材通りでは無く、クラス討論に発展させていくという手法がマッチしていたと思います。最後、時間が足りなかった点は少し残念でした。」

錫田 克彦先生（駒場学園高等学校）

「1学年の授業を拝見させていただきましたが、リーダーとなる生徒が居て、ムードを作る生徒が居る。非常にまとまりのあるクラスだと感じました。担任の先生のお力を感じました。」

玉川 弘文先生（都立赤羽商業高等学校）

「1年生と3年生の授業を拝見しました。私は20数年女子校ですので、男子校が新鮮に感じました。先生が生徒と非常に良い関係を築いていらっしゃるなど感じました。」

長谷川 俊介先生（緑ヶ丘女子中学校高等学校）

「本校では未だKA教育のカリキュラムを取り入れておらず、今回初めて参加させて頂きました。最初、どのようなディスカッションをされるのか興味があったのですが、生徒さんも非常に活発で先生の意見も良く聞かれていたと思います。しかし、果たして本校でそれが通用するのかなと感じました。特進・選抜クラスにおいては何とかかなりそうですが、所謂一般クラス（クラスによって差はありますが）では難しいのではないかなと感じました。また、教員間での事前準備、打ち合わせ等はどのようにされているのかお聞きしたいです。」

河合 治久先生（横浜学園中学校高等学校）

「3クラス全て拝見させて頂きました。まず、先生方と生徒さんのコミュニケーションが良く取れているなど感じました。従ってスムーズに進行が出来ているんだろうなと感じました。教員の技術もあるでしょうが、自分のクラスに同じものを取り入れたとして、果たして上手く進むのか？どのクラスでも同じ方法で良いのだろうか？と感じました。」

鮫島 宗英先生（横浜学園中学校高等学校）

「教員間の事前準備や打ち合わせ、又、なかなか上手く回らないようなクラスはどのように対処されているのか？といった意見がありましたので、小松原高校の三島先生よりグループコミュニケーションについての実施形態というのを教えていただければと思います。」

菊地 淳（KA 教育）

「先生方よりご指摘があった通りなんですけれども、本日は各学年のトップクラスでの公開授業でしたので、このようなグループコミュニケーションが成り立っていたのです。下準備としては特にやっておらず、全て担任の力量になります。各学年の足並みは整えておりません。進学選抜・進学コースで一つの学校、総合で一つの学校、工業で一つの学校といった捉え方をしてもらえればよろしいかと思います。実際、総合／工業のクラスにはかなり厳しいという担任の意見は多いです。ですが、その総合／工業のクラスにこそ必要なプログラムだと思っております。色々なプログラムがありますが、やはりマニュアル通りにはうまくいきません。一番のポイントが『先生が面倒くさがる』という点です。これが巧く作用すれば学校全体、生徒のコミュニケーションやヤル気もアップ出来ると思っております。」

三島 里司先生（小松原高等学校）

Q 「各学年に配られていた『ふりかえりシート』ですが、最終的にどのような処理をされているのでしょうか？」
河合 治久先生（横浜学園中学校高等学校）

「担任によってそれぞれなんです。私の場合は半年間はストックしております。終わった後は必ず目を通して、生徒がどのような考え方をしているのか？ 特異な考え方をしている生徒はいないか？ 等をチェックしております。またそれに関する生徒への問いかけも心掛けています。」

三島 里司先生（小松原高等学校）

「すぐに目を通しております。生徒によって意見はかなり違いますので、必要な時はそれに関しての話をしています。」

大場 宣夫先生（小松原高等学校）

Q 「例えば一つのテーマに対して、次回に持ち越して更に発展させる等といった柔軟にやられていたら教えてください。」

河合 治久先生（横浜学園中学校高等学校）

「今日の場合でいうと『私の長所は？』という事だったのですが、自己PR文に繋ぐというような目的があります。ACを下げる為に自分に自信を持たるということに着眼を置いています。マニュアルは頂いているんですが、そのままでは無く、その場に応じて望んでおります。」

三島 里司先生（小松原高等学校）

「学校によっては授業が45分、40分の所もあります。そういった所はやはり2時間くらいかけなくてはいけないのでは無いか。又、表現力が苦手な生徒、友達とのディスカッションが苦手な生徒に対して、3Dを導入した学校も多いと思います。授業でグループを作っても人間関係が出来ていないグループだと何を喋ったら良いか分からなくて、結局は担任の一言や声かけや、私の場合は事前にグループを作る雰囲気を作らなくてはなりません。よって私の場合は45分2コマで全てやりつつ、時間が余った場合は『ふりかえりシート』を更に発展させていく、クラスの輪を作る為に3Dをやっておりますので、柔軟に考えてもよろしいかと思います。」

玉川 弘文先生（都立赤羽商業高等学校）

「テーマの内容を教員側が見て、これは分けた方が良くないと思うテーマに関しては分けています。例えば1回目をやった、2回目をやる前に1度『調べる』という課題を投げかけて2回目に入るという項目を作っています。」

鵜田 克彦先生（駒場学園高等学校）



初めてやられる時は『グループコミュニケーションの事前準備』がやはり重要になってきます。

1. グループ編成（友達同士など話しやすい環境作り）

2. リーダーの決定（先生が選定）

3. リーダーへの指示（目的・内容を伝える）

基本的にどの教材を使用したとしても、やり方は同じです。

1. 導入（目的／ルール）

2. 個人研究（個人で考え、人と相談させない）

3. グループ討論（グループ内で発表させる）

4. リーダーの発表

「リーダーが話した後は拍手で盛り上げる等といった環境づくりをし、絶対に否定をしない。先生方には出来るだけ良い事を生徒達に訴えていただきたいと考えております。『ふりかえりシート』に関しては、特に気になる生徒を掌握していただくのが目的であり、何らかの問題をかかえた生徒に対してのコミュニケーションのツールとして使用していただければと考えております。」

一番重要なのは、担任の先生による最後の「まとめ」の部分です。自分の気持ちを開示し、生徒に訴えていくという事が大切ではないかと思います。又、先生方の意識やスキル等のばらつきがある事は事実です。ただ、何の目的のためにこれをやるのか？ というのが、全先生方が同じ認識を持っていれば多少のばらつきがあっても、生徒達に先生の気持ちは伝わっていくのではないかと思います。

本日は、大場先生のクラスを拝見させていただいたのですが、先生と生徒達の一体感というのが見えました。是非、こういったプログラムを活用しながら、子供たちのコミュニケーション能力、自分の意見を勇気を持って伝えられる力を学校の中で培って頂きたいと思います。本日は大変勉強になりました。ありがとうございました」

菊地 淳（KA 教育）

先生方による様々な意見や感想が挙がり、活気のある意見交換会となった。

photo report



出来る・大丈夫・大成功

3D 教育研究会

2009. 11.7 3D 教育研究会 公開授業見学会 in 小松原高等学校

株 式 会 社 K A 教 育

〒 173-0012

東京都板橋区大和町 12-12

03-6784-7675